

浸水から街を守る『いろは呑龍トンネル』

いろは呑龍新聞第9号～平成28年8月号～



「いろは呑龍トンネル」南幹線の延長が1 kmを超えました。

「いろは呑龍トンネル」南幹線は、トンネル掘削機の先端のビット（刃）で掘削していますが、途中、岩があるため、岩対応ビットに地中で交換します。ビット交換時に地中のメタンガスがトンネル内に流入する可能性があるため、事前にメタンガスの調査をしました。



メタンガス調査
(国道171号地上)



メタンガス調査
(地下30mまで調査)



メタンガス計測
(メタンガス0値確認)



今回調査箇所から北へ約100mの場所で、土質調査の途中にメタンガスが地上に噴出したことがあったことから、万に備えて、シートで覆いメタンガスの調査をしました。

地下30mまで調査した結果、当箇所ではメタンガスは存在しませんでした。今後、トンネル掘削機がメタンガス噴出箇所を掘削するため、十分、注意しながら施工していきます。

「いろは呑龍トンネル」南幹線は、昼夜24時間工事のため、様々な防音対策を実施しています。

- 地上部で騒音が発生する設備については、防音ハウス内に設置
- 現場の仮囲いには遮音シートを貼付
- トンネル掘削機で掘削した残土は、泥状にして配管で流体輸送
- 破砕機、動力設備、ポンプ設備等は、地下約20mのトンネル内に設置

泥水処理プラント
(防音対策前)



泥水処理プラント
(防音対策後)



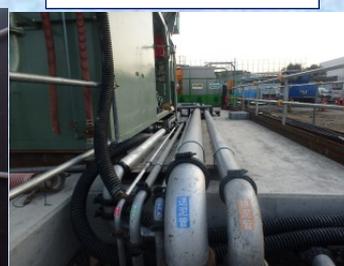
泥水処理プラント
(全景)



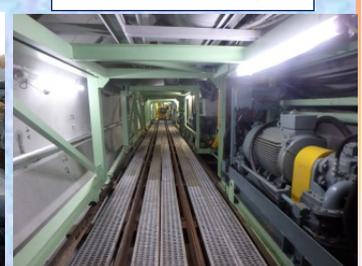
現場仮囲い
(遮音シート貼付)



掘削残土を流体輸送
(配管輸送)



破砕機、動力設備等
(地下約20m)



<工事の進捗状況>

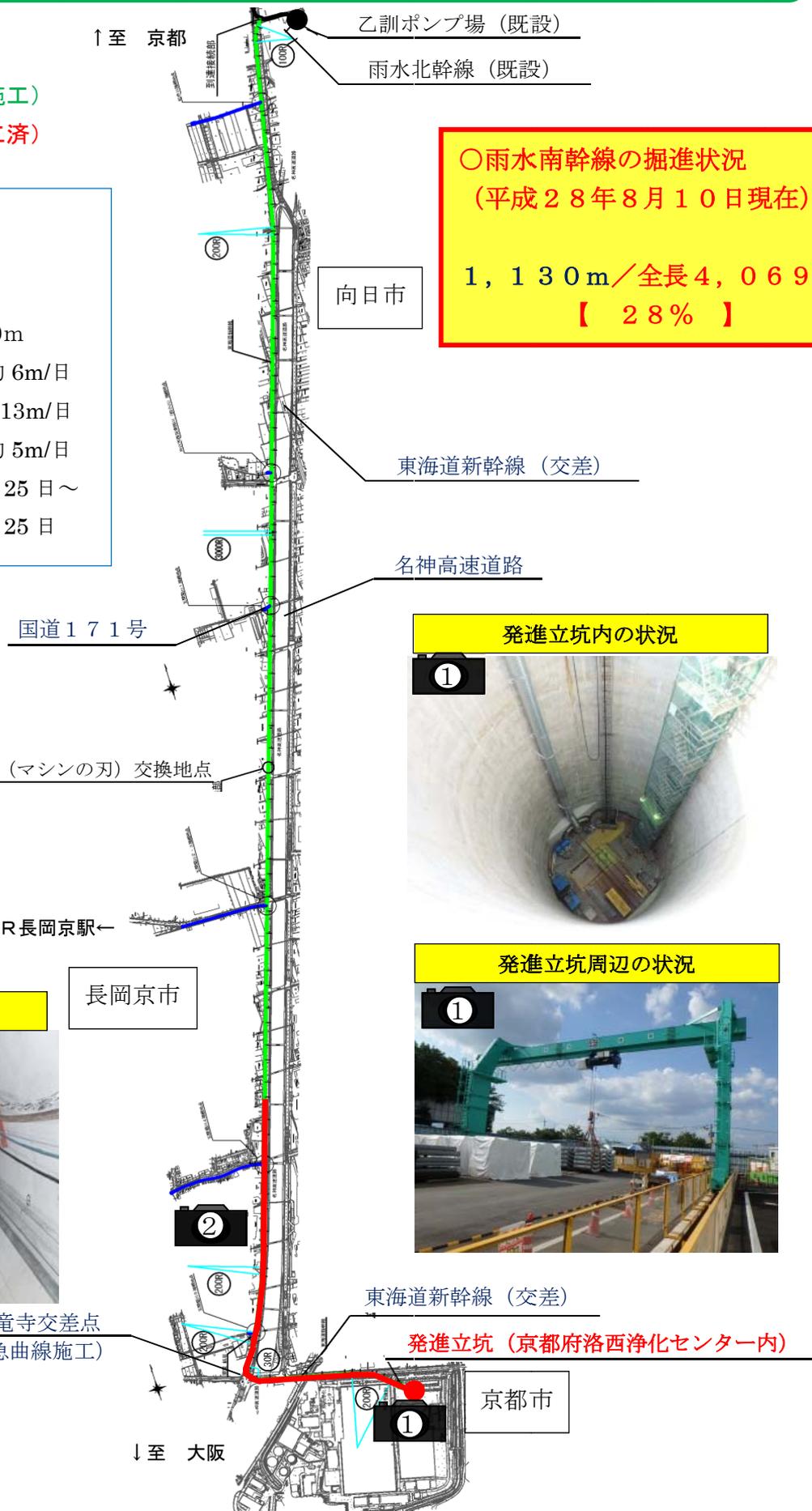
いろは呑龍トンネルは、国道171号を北上しています。

【雨水南幹線計画図】

- 雨水南幹線 (未施工)
- 雨水南幹線 (施工済)

○雨水南幹線の概要

- 掘削延長：4,069m
- 内径：3.5m
- 土被り（深さ）：約20m
- 掘進速度 初期 約6m/日
- 本掘進 約13m/日
- 到達 約5m/日
- 工期：平成27年3月25日～平成31年3月25日



○雨水南幹線の掘進状況
(平成28年8月10日現在)

1,130m / 全長4,069m
【 28% 】



発進立坑 (京都府洛西浄化センター内)